

サトイモ\*<sup>1</sup>(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒毒性	使用時期(回数)	使用回数	乾腐病	疫病	黒斑病	アブラムシ類	ハスモンヨトウ類	スズメガタ類	ネキリムシ類	コガネムシ類	ハダニ	カンザワハダニ	ネグサレセンチュウ
ジーファイン水	無機・無機	NC・M1		1	-	◎										
アミスター20FL	Q o I	11		14	3	◎										
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1		*a	1			◎								
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		*e	1	柄										
ペンコゼブ水	有機硫黄	M3		7	2		◎									
ベンレートT水20	有機硫黄・ベンゾイミダゾール	M3・1		*a	1			◎								
ダイナモ顆水	他・他	21・27		21	3			◎								
コロマイト乳	マコロイト	6		1	2									◎	◎	
マトリックFL	I GR	18		7	3					◎				柄	柄	
ロムダンFL	I GR	18		1	3					◎						◎
ビーラム粒	アミド			*a	1											◎
バイデートL粒	カーバメート	1A	劇	*a	1											◎
オンコル粒5	カーバメート	1A		*b *c	1				◎					幼		
ネマキック粒	殺線虫	1B		*a	1											◎
ネマトリンエース粒	殺線虫	1B		*a	1											◎
ラグビーMC粒	殺線虫	1B		*a	1								◎			◎
カネマイトFL	殺ダニ	20B		7	1									柄	柄	
サンマイトFL	殺ダニ	21A	劇	21	2									◎	◎	
マイトコーネFL	殺ダニ	20D		3	1									◎	◎	
フェニックス顆水	ジアミド	28		1	2					◎						
プレバソンFL5	ジアミド	28		1	3					◎						
ヨーバルFL	ジアミド	28		1	2					◎						
ディアナSC	スピノシン	5		1	2					◎	セ					
アクタラ粒5	ネオニコチノイド	4A		*a	1				◎					幼		

サトイモ

サトイモ\*1(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒毒性	使用時期(日数)	使用回数	乾腐病	疫病	黒斑病	アブラムシ類	ハスモンヨトウ類	スズメガタ類	ネキリムシ類	コガネムシ類	ハダニ	カンザワハダニ	ネグサレセンチュウ
アドマイヤー顆水	ネニコチト <sup>®</sup>	4A	劇	14 1	2				◎							
アドマイヤー1粒	ネニコチト <sup>®</sup>	4A		*c	1				◎							
モスピラン粒	ネニコチト <sup>®</sup>	4A		*c	1				◎							
パダンSG溶	ネリストキン	14	劇	*a	1											◎
アディオン乳	ピレスロト <sup>®</sup>	3A		7	5 2				◎	◎	◎					
ガードベイトA粒	ピレスロト <sup>®</sup>	3A		*d	5							◎				
トレボン乳	ピレスロト <sup>®</sup>	3A		14 7	3					◎						
アニキ乳剤	マクロイト <sup>®</sup>	6		1	3				◎							
ダイアジノンSLゾル	有機リン	1B		*a	1								幼			
ネキリエースK粒	有機リン	1B		14	4							◎				
アクセルFL	他	22B		1	3					◎						
ウララDF	他	29		7	2				◎							
グレーシア乳	他	30		7	2					◎						
コテツFL	他	13	劇	7 3	2					◎					◎	
トルネードエースDF	他	22A		7	2				◎							
プレオFL	他	UN		7	2				◎	◎						
ハクサップ水	ピレスロト <sup>®</sup> ・有機リン	3A・1B	劇	3	5				◎							

\*1:サトイモ…えびいも、たけのこいも、やつがしらを含む

\*a:植付前 \*b:生育期(但し収穫60日前まで) \*c:植付時 \*d:生育初期 \*e:催芽前

柄:サトイモ(葉柄)での登録

幼:幼虫

\*セ:セスジスズメ

※サトイモ及び葉柄(ズイキ、ダツイモ)の両方を収穫する場合には、①野菜類あるいは②「イモ類又はサトイモ」と「サトイモ(葉柄)」の両方に登録がある農薬を使用する。また、サトイモ(葉柄)の登録における「使用時期(日数)」は、葉柄を収穫する前までの日数なので注意する。

## サトイモ(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

主要病害虫発消長		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病害	普通												
	黒斑病 乾腐病												
虫害	ワタアブラムシ												
	ハスモンヨトウ												

作型 — ; 栽培期 — ; 収穫期  
 病害虫発消長 — ; 発生期 — ; 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
黒斑病	定植前	1. 種いもは無病のものを選び植えつける。 2. 種いもを次の薬剤のいずれかで処理する。 トップジンM水和剤 200~500倍 20~30分浸漬 ベンレートT水和剤20 種いも重量の0.4~0.5%粉衣 20倍液 1分間浸漬	収穫期になって発生し、とくに台風後や降雨の続くとき多発する。
乾腐病		1. 種いもは無病のものを選び植えつける。 2. 土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。	
アブラムシ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アディオン乳剤 3000倍	
ハスモンヨトウ	成虫発生初期	・フェロディンSL△* 2~4個/ha設置	*イモ類での登録 △フェロモンの効果は 2ヶ月程度持続する が、必要に応じ1.5~2 ヶ月で更新する。
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 2000倍 コテツフロアブル 2000倍	
その他の病害虫		汚斑病、軟腐病	